

雑草とタニシとの根競べ

農作業の中でも最も厳しい作業は雑草除去です。農地の中や周辺、水路の中や周辺など、まさに戦いとなりま



草刈りは農作業の中でも一番きつい仕事、真夏は長時間作業は禁物

す。稲の成長の時は雑草の成長のためです。雑草管理のための薬剤も田植えと同時に散布してありますが、全て防除できるものではありません。そもそも一つの強敵は「ジャンボタニシ」です。非常に強い生命力で生き続けています。タニシは稲が大きくなるとあまり問題はないのですが、植えた直後の苗には強敵です。苗の柔らかい部分を食べてしまうのです。田植え直後にはあまり良く分かりませんが、水面に食いち

ぎられた葉が浮かんでいることがあります。しばらくすると、どういことが起きたか分かることとなります。



水田の中にぼっかりとあいた「空き地」、28ヘクタールの圃場に何か所かある

こうした空き地のような部分には、目立つのですが、法人の作業では「植えたし」などはされません。水田の総面積からするとあまり問題になるようなものではないでしょう。

手で稲を植えていたころは、水田の隅々まで苗を植えて、一本でも多く植えようとしていました。しかし、結局はその面積でできるお米の収量には、あまり影響しないということになりました。

とはいえ雑草は水田の持つている本来のエネルギーを横取りします。たくさんのおいしいお米を作るには、手をかけるしかありません。

新たな認定の申請

令和元年からの5年間の活動計画を市に提出しました。昨年度から、対象農地の確認作業を続けてきました。当初から施設の変更はないものの、作付けの関係で水田と畑地の面積が若干ですが変更になりました。

いずれも用途の制限など、厳しい制約があるものですが、私たちの活動には欠かせないものです。申請通り認定が下りれば昨年度までより約3.5%増額の2,594,176円の交付額となります。

多面的機能支払制度の中身は3つの交付金から成り立っています。一つは「農地維持支払」これは、主に農地維持管理に充てるものです。「資源向上支払場」は、共同

作業で施設環境を良くしていくことへの予算です。おなじく資源向上支払ですが、施設の改良により長寿命化を図る事業については別枠が設けられています。

雨・風・地震

常に臨戦態勢の心掛けが必要



降雨が続いた後の水路（藤田貢さん宅西側）

平成21年7月21日、降り続いていた雨は一気に勢いを増し、周辺の水路を溢れさせました。

あの水害から10年が経ちましたが、大雨の恐怖は変わることはありません。小郡周辺では平成25年の榎野川の急激な増水。平成30年7月7日の大雨。ギリギリのところまで水が引き出したときは、関係者みんな胸をなでおろしました。

この10年間、九州、広島、岡山、四国など毎年のように重大な水害が発生



社明運動初日、内閣総理大臣からのメッセージが保護司から市に伝達（新山口駅南口 7月1日）

して、多くの人命が失われています。幸い、周辺では人的被害があったことは多くはありませんが、いつどんな災害が襲ってくるか予測できません。7月16日から降り出した雨は、折からの台風5号の接近で一気に緊張が高まりましたが、何とかしのぐことができました。常に緊急事態への備えは欠かせません。

みなさんの募金はそれぞれの活動に生かされます

飛び入り歓迎 八方原ふれあい盆踊り大会

八方原ふれあい盆踊り大会が左記のとおり開催されます。慰霊の盆踊り大会ですが、バザーや花火などのお楽しみもあります。焼き鳥、缶ビールなどは、当日売りも多少ありますので、夕涼みにお気軽にご参加ください。

日時 8月3日(土)
午後7時より
会場 三角公園



花火だけじゃない、他のイベントもあるよ

当自治会では、社会福祉に関する寄付金を年度の初めに申告していただき、一括してお預かりしています。日本赤十字社への募金は、医療を通じての人々の救済活動に使用されます。日本赤十字山口病院も地元の医療の中で大きなウエイトを占めるものから、みなさんよくご存じですね。次に来るのが「社協」として親しまれている社会福祉協議会です。市役所など行政ができない、直接的な住民サービスを請け負います。従来から小郡社会福祉協議会として運営されていましたが、合併により山口市社会福祉

協議会南部支所となり、小郡地区の住民サービスは、建物の一部に「小郡地区社会福祉協議会」として残っています。7月には「社会を明るくする運動」の募金がありました。これは、戦後間もなく、恵まれない青少年の保護育成から始まった社会活動です。今年のお回目となる活動ですが、小郡町時代にはあまり活動していません。7月1日の運動開始日には、保護司、更生保護女性会、民生委員、自治会連合会などが合同で、啓発活動を実施しました。